

『PCA hyper 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.35プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH250331

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《ファイル》

◇ データ領域の作成

- データ領域の作成手順を見直しました。設定可能な項目が増え、より便利になりました。
- 以下のシリーズ製品と直接連動が可能な場合は、そのデータ領域の設定を利用することが可能になりました。

【対象となるPCA会計製品】

PCA hyper 会計シリーズ
PCA 会計シリーズ バージョンDX
PCA 医療法人会計シリーズ バージョンDX
PCA 建設業会計シリーズ バージョンDX
PCA 個別原価シリーズ バージョンDX
PCA 社会福祉法人会計シリーズ バージョンDX
PCA 公益法人会計シリーズ バージョンDX

【読み込む情報】

会社情報
期数・事業期間
所在情報
法人番号
使用する暦
固定資産科目の最大コード桁数、0詰め
セグメントに関する設定
※部門などマスターの読込には対応していません。

《資産》

◇ 資産の登録

- 一般資産から少額資産、少額資産から一般資産への複写に対応しました。
- 一般資産で登録したが、取得価額が30万円未満だったので少額資産として登録しなおしたり、少額資産で登録したが、合計30万円を超えてしまったので一般資産で登録しなおすという利用が可能です。

◇ 資産の登録

- ユーザー毎にマスターの初期値を設定することができるようになりました。
- 入力担当がよく使う部門や場所の初期値を設定したり、固定資産科目と取引先（仕入先）を組み合わせで初期値として設定することが可能です。
- 他のユーザーが登録した初期値設定を利用することも可能です。

《台帳・一覧》

◇ 固定資産台帳（一）、グループ固定資産台帳（一）

- 台帳項目「当期損金認容額」の出力に対応しました。
- パターンに設定することで出力いただけます。

◇ 固定資産台帳（一）、グループ固定資産台帳（一）

- 条件指示に「除却・売却区分」を追加しました。
- 資産を「除却」「売却」といった区分ごとに絞り込めるようになりました。

《申告書》

◇ 地方税電子申告

- 利用者情報の照会・変更において、メールアドレスの変更または追加時の二段階認証に対応しました。（eLTAXサービスの仕様変更に対応）

《随時》

◇ 汎用データの受入

- 資産画像の汎用データ受入に対応しました。
- 新規導入時にまとめて画像を受け入れたい場合や、新規購入した資産にまとめて画像を設定したい場合などに利用できます。

《グループ企業管理》

◇ グループ共通マスターの関連付け設定

- 一覧表示画面で、一括での自動関連付けに対応しました。
- 同じく一覧表示画面で、関連付けの状況を確認できるように対応しました。
- 複数のマスターで一度に自動関連付けを行い、その関連付け状況を確認することが可能です。

互換性に関する変更点

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「7.23」に更新しました。

下記のデータを追加しました。

- ・初期値設定パターン
- ・初期値設定データ（マスター）

《汎用データの変更について》

以下のデータを追加しました。

- ・資産画像（バージョン「1」）